

随想

琵琶湖雑感

18期 和田 邦稔

昨年11月に、2年がかりでの琵琶湖一周ウォーキングを完歩することができました。月1回のペースで、瀬田唐橋から湖東、湖北へと左回りで湖西から瀬田唐橋までを計16回の歩きでした。その一方で、この歩きの途中の昨年4月から、名古屋市高年大学のクラブ活動「万葉散歩クラブ」に参加することになりましたが、湖西のウォーキングの頃に、いくつかの万葉歌碑に出逢い、かつての北陸への主要道を楽しく歩くことができました。

高校を卒業してからは名古屋生活のため、湖西は帰省時や旅行などでも立ち寄ることは全くありませんでした。琵琶湖という自然からの恩恵や災害を反映した町並み、都と北陸を結ぶ営み、古代から戦国時代までの足跡などに触れ、何を今更と言われるかも知れませんが、感慨深い思いで歩きました。

万葉集は言わずと知れた日本最古の歌集ですが、高校生までに習ったのは、歌集名と、柿本人麻呂、山上憶良、山部赤人、大伴家持などといった歌人名と少しの歌くらいでしょうか。クラブ活動の中では、万葉初期の時代の皇子や皇女などを巡る表現豊かな歌と歌から見える人間模様がすごく面白く、興味深いものがありました。歌そのものよりも、背景や真実が知りたくなってきます。

大化改新を成し遂げたのに天皇即位までに22年もかかった中大兄皇子。壬申の乱に勝利しすぐに天皇となり、記紀編纂を命じ、斎王をたて伊勢神宮に仕寄せた大海人皇子。兄弟とされるこの二人と女性歌人の額田王をめぐる歌も不思議です。

天智天皇が遷した近江大津宮は、5年余りと短期間でしたが、『さざなみの志賀のみやこ』という素敵な響きを私たちに残しています。湖西のほかの町並みも、急がずゆっくりと、琵琶湖や比良からの風音を聞きながら、もう一度歩いてみたいと思います。

自閉症の息子

28期 浅野 恒一郎

28期の浅野です。2年前に初めてピアパーティーに参加し、初対面の多くの先輩方と数人の後輩に会い、何の遠慮もなく自己開示ができました。気持ちのいい体験でした。同郷であることにつながり、私にとって大きなものです。

もう一度、自己開示を。いつも思っていることを書いてみました。

自分は何者だろうって考えることはありませんか？何のために生まれたのだろうかって。

ある日、彼は地上に召されました。天国でこの国に、この地に生まれることを決められて。そして、彼はある親の元に生まれ落ちた。彼は普通の子供とは違って。彼の考えること、彼の感じることは、未熟な親にはわからなかった。ただ、親の私は幸せだった。この子を授かって幸せだった。この子を幸せにしたいと願った。

彼は、たくさんの人を巻き込んだ。たくさんの人々の力を借りて、この世界のルールの中で生きている。彼の存在は、たくさんの人に苦勞をかける。同時に喜びも与える。彼が生きていることでは、どんなものも作らない。お金も稼がない。起きて、食べて、飲んで、走って、飛んで、散らかして、汚して、笑って、泣いて、寝る。そんな毎日を送る。

彼の笑顔が見たくて、彼を楽しませたくて、彼の心が知りたくて、ただ彼を見つめる。彼の幸せを望むだけ。

彼は、私に喜びを与えるために生まれた。多くの人に仕事を与え、多大な苦勞を与え、そして喜びを与えた。彼の生きる意味はそこにある。

障害者と健常者は、白と黒、プラスとマイナスではありません。ある連続したスペクトラムの中にあります。私も出来ることと出来ないことがあります。出来ないことは、人の助けを借りて生きています。その部分は障害者です。社会は個々が役目を果たしながら、

支えあって成り立ちます。障害の無い人はいないと してくれた。彼のために生きることが、私に与えられ
言ってもいいのです。 した使命だと思う。

彼が私の息子として生を受けたことが、私を作り出

金沢の同窓生

今回から、金沢でユニークな活動をされている同窓生をご紹介します連載を始めます。
第1回は蕎麦打ち名人の17期中山道男さんです。
次回へ向けて耳寄りな情報をお寄せください。



Q. 蕎麦打ち名人として有名だそうです、蕎麦打ちのきっかけは：

約30年ほど前の福井県での事ですが、お客と心の繋がりを持つため、福井県人が自慢とする蕎麦を嘗めることで取り入りました。よこしまな事でしたが上手く行きました。丸岡町のお客さんが蕎麦の製粉所を紹介してくれてそこへ行く羽目になり、止む無く粉を購入して帰りました。半信半疑でしたが、蕎麦粉屋の社長の言う通りやってみました。何とかできました。それまでは、捏ね鉢が無い、庖丁が無い、押し台が無い・・・etc言い訳ばかりでした。無いモノばかりを取り上げるのは「やる気が無いのよ！」ズバリでした。

Q. 変わった衣装で蕎麦打ちをされていますがどんな活動をされているんですか：

蕎麦を打ち始めて四半世紀余り、お蔭様で貴重な体験もありました。雑誌のグラビアに4ページ載ったり、NYや上海でやったりもしました。谷本知事の前で津軽三味線に合わせて蕎麦打ちパフォーマンスもやりました。二水の同窓会館の建設費用350万円の分担金の足しにすべく同級生に蕎麦を供してチャリティーのもやりました。

写真は座敷開きに野袴の装束を着てやった時のものですが、小学校、老人会、農協の婦人部の会、某料理教室に招かれてデモしたりもしました。「赤い糸の蕎麦会」というお見合い蕎麦打ちもしました。一緒に料理を作って一緒に食べれば素性が出ます。嘘ばかりついて付き合っ、結婚したらがっかりということにならぬよう、相手のことが事前に判ります？という企画でした。

Q. 中山さんのお蕎麦を食べられますか：

こんなこと書いて『ワシにも食わせろや』という人がいます。「OK」です。以前に近江町いちば館で蕎麦会をしました。食育のためのという大義名分があればいい施設が安く使えます。「ジジ、パパと孫の蕎麦打ち会」としていかがでしょうか？孫のつくった料理を食べた人は口々に「今まで食べた蕎麦より断然この蕎麦が一番や！」頭も愛情という味付けで頂いてます。

